



藤沢市役所

記者発表資料
2023年（令和5年）9月14日

藤沢記者クラブ各位

インフルエンザの流行が始まりました

厚生労働省では、毎年インフルエンザの発生状況調査を実施しており、今年度は9月4日以降を新シーズンとして、各種対策に取り組んでいるところです。

藤沢市では、感染症発生動向調査による、2023年第36週（9/4～9/10）におけるインフルエンザの発生状況が、定点※あたり3.56人（定点数16か所、患者報告数57人）となり、流行の目安となる基準（定点あたり1.00人）を超え、流行期に入りました。

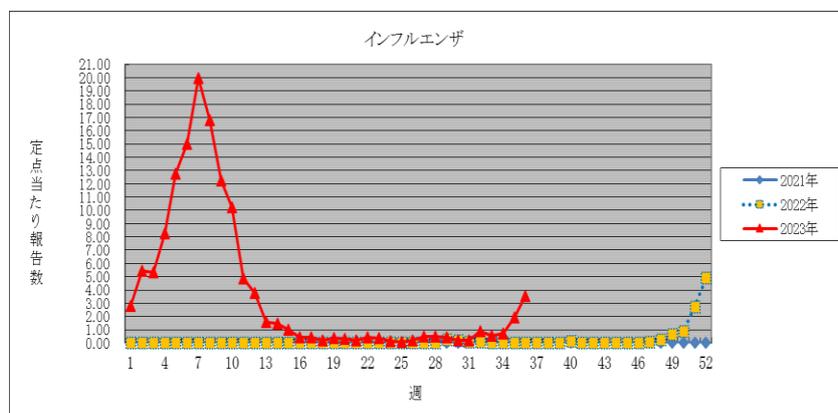
今後、さらに流行することが予想されます。感染予防対策をお願いいたします。

※「定点」：定期的に患者発生状況を報告いただいている市内医療機関（インフルエンザの場合は、16か所）。定点あたりの数とは、1週間分の患者数の平均値。

▼インフルエンザの定点あたり基準値の推移

週	集計期間	全国	神奈川県	藤沢市
32週	8月7日～8月13日	1.07	0.70	0.87
33週	8月14日～8月20日	1.01	0.59	0.56
34週	8月21日～8月27日	1.40	1.34	0.69
35週	8月28日～9月3日	2.56	2.74	1.94
令和5年度新シーズン開始				
36週	9月4日～9月10日	-	-	3.56（流行開始）

▼藤沢市内のインフルエンザ発生状況グラフ



《次項あり》

インフルエンザの感染予防対策

インフルエンザは、主に感染している人の咳やくしゃみ、つばなどの飛沫を吸い込むことで感染します。また、ウイルスが付着した手で、目や鼻をこすることでも感染するおそれがあります。

- ◆石けんをよく泡立てて手洗いをしましょう。集団生活をしている施設では、共用タオルの使用はやめましょう。
- ◆咳などの症状があるときはマスクを着用するなど、咳エチケットを徹底しましょう。
- ◆咳やくしゃみを手で受け止めたときは、すぐに手を石けんで洗いましょう。

【注意！】インフルエンザと診断された場合、抗インフルエンザ薬を使用して解熱しても、すぐにウイルスの排出がなくなるわけではありません。登校・登園や仕事に復帰する時期は、医師の指示に従ってください。

【参考：学校保健安全法による出席停止期間】

「発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで」

▼過去の市内のインフルエンザ発生状況

年度	週	集計週間	基準値	発生状況
2016年度 (平成28年)	47週	11/21~11/27	1.14	流行開始
	1週(翌年)	1/9~1/15	11.43	注意報
	4週	1/23~1/29	45.71	警報
	10週	3/6~3/12	8.86	警報解除
2017年度 (平成29年)	47週	11/20~11/26	2.25	流行開始
	51週	12/18~12/24	11.69	注意報
	3週(翌年)	1/15~1/21	41.25	警報
	10週	3/5~3/11	6.19	警報解除
2018年度 (平成30年)	51週	12/17~12/23	2.56	流行開始
	1週(翌年)	12/31~1/6	10.47	注意報
	3週	1/14~1/20	47.69	警報
	7週	2/11~2/17	9.19	警報解除
2019年度 (令和元年)	46週	11/11~11/17	1.25	流行開始
	50週	12/9~12/15	11.94	注意報
	※6週(翌年)	2/3~2/9	7.81	(参考値)
2022年度 (令和4年)	51週	12/19~12/25	2.75	流行開始
	5週(翌年)	1/30~2/5	10.47	注意報
	※11週(翌年)	3/13~3/19	4.88	(参考値)

※基準値が10を超えると「注意報」、
30を超えると「警報」発令の後、
10を下回ると「警報解除」

※2019年度、2022年度は、警報の発令に至らなかったため、基準値が10を下回った週を参考値として掲載しています。

※2020年度、2021年度の流行はありませんでした。

*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 健康医療部 保健予防課

担当： 幸田・加藤

内線： 7171

直通： 0466(50)3593